

## 5-3 リビア

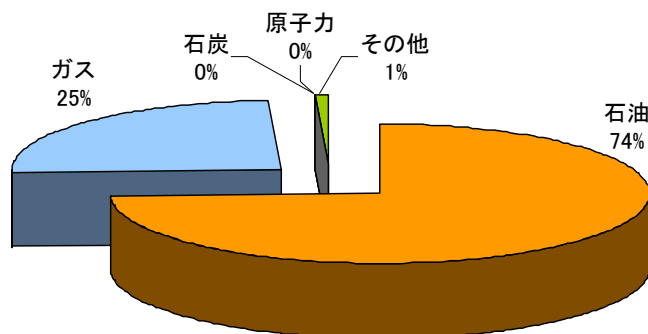
### 1. サマリー

#### 1. エネルギー事情

2009 年末におけるリビアの石油確認埋蔵量は 443 億バレルであり、世界に占めるシェアは 3.3%であった。同埋蔵量に関しては世界第 8 位、また、アフリカでは第 1 位となっている。同年の天然ガス確認埋蔵量は 1.54 兆立米で世界に占めるシェアは 0.8%となっている。

- (1) 一次エネルギー供給量(2008 年) : 18.22 石油換算百万トン (日本の 3.7%)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量(2008 年) : 2.90 石油換算トン (日本の 74.7%)
- (3) エネルギー自給率(2008 年) : 569%
- (4) エネルギー起源 CO2 排出量(2008 年) : 43.1 二酸化炭素百万トン (日本の 3.6%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO2 排出量(2008 年) : 7.01 二酸化炭素トン (日本の 75.3%)
- (6) エネルギー源別可採年数(2009 年末) : 原油 73.4 年、天然ガス 100 年以上

一次エネルギー供給構成 (2008 年)



(出所) IEA, Energy Balance of Non-OECD Countries 2010

#### 2. エネルギー政策のポイント

##### (1) エネルギー政策担当機関

石油・天然ガス部門については、探鉱・開発の実務を行っている NOC(National Oil Company)に権限が集約されている。また、電力部門については電力公社 (GECOL : Ggeneral Electricity Company of Libya) が実質的に権限を持つ形となっている。

##### (2) 基本政策

リビアは 2013 年までの 24 油田の開発計画を発表した。リビアは現在、アフリカで最大となる 443 億バレルの原油埋蔵量を保有しているが、同埋蔵量を 50 億バレル増加させる計画。また、原油生産量について、2008 年実績の 175.8 万 B/D から 253.3 万 B/D まで 77.5 万 B/D 増加させる計画を立てている。

(3) 最近の動向

国際的な格付け機関のスタンダード・アンド・プアーズ (S&P) は、リビアにとって初めてとなる格付けを発表。長期債で A-1、短期債で A-2 となる格付けは、安定的な展望を示すとともに 2003 年から進められてきた経済改革に対する信任を得たことを示す。ただし、問題点として、エネルギー分野では堅実な展望が見られる一方で、公的機関における意思決定の透明性の欠如、民間部門における改革の不透明性が指摘されている。

**3. 日本とのエネルギー分野における関係**

2005 年 10 月に実施された上流鉱区の第 2 次入札で日本企業が入札を行い、帝国石油、新日本石油開発、三菱商事、石油資源開発、国際石油開発が計 6 鉱区を落札した。また、2006 年 12 月には、第 3 次入札の結果が発表され、国際石油開発および三井石油開発が計 2 鉱区を落札した。2007 年 7 月に開始された第 4 次公開鉱区入札においては、日本企業として国際石油開発がオペレーターとして、また伊藤忠商事、石油資源開発、三菱商事、三井石油開発、JOGMEC がインベスターとして資格審査を通過したが、最終的に落札には至っていない。

## 2. 主要エネルギー指標

(2008 年)

(1)	一次エネルギー供給量	18.22	石油換算百万トン
(2)	一人当たりの一次エネルギー供給	2.90	石油換算トン/人
(3)	GDP 当たりの一次エネルギー供給	0.34	石油換算トン/千ドル
(4)	エネルギー自給率	569	%
(5)	エネルギー起源 CO2 排出量	43.1	二酸化炭素百万トン
(6)	一人当たりエネルギー起源 CO2 排出量	7.01	二酸化炭素トン/人
(7)	エネルギー源別構成率		
	石炭	—	%
	石油	74.5	%
	ガス	24.6	%
	原子力	—	%
	水力	—	%
	再生可能エネルギー等	0.9	%
(8)	エネルギーの輸入依存度	-467.8	%
(9)	石油の輸入依存度	-565.6	%
(10)	輸入原油の中東依存度	0.0	%
(11)	原油輸出先 (2008)	第 1 位	イタリア
		第 2 位	ドイツ
		第 3 位	フランス

(出所) (1)～(4)および(7)～(9)は IEA 「Energy Balances of non-OECD Countries」 2010 edition

(5)～(6)は IEA 「CO2 Emissions from Fuel Combustion」 2009 Edition

(10)～(11)は Blackwell 「World Oil Trade : An Annual Analysis and Statistical Review of International Oil Movements」 September 2009